

第13回 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会 議事概要

■日時：令和5年7月12日（水）17:00～18:00@Zoom

■参加者：

＜幹事団体＞

別紙「参加団体一覧」参照

＜事務局＞

山本 麻理	内閣官房孤独・孤立対策担当室 室長
江浪 武志	内閣官房孤独・孤立対策担当室 次長
大西 連	内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与
田村 真一	内閣官房孤独・孤立対策担当室 参事官
澤瀬 正明	内閣官房孤独・孤立対策担当室 参事官
高橋 範充	内閣官房孤独・孤立対策担当室 参事官補佐
吉川 晃	内閣官房孤独・孤立対策担当室 参事官補佐
黒瀬 啓介	内閣官房孤独・孤立対策担当室

前田絵麻 一般社団法人RCF

井口香穂 一般社団法人RCF 他1名

（以下、敬称略）

■意見交換要旨

2. 議題

□内閣官房から人事に関する報告

- ・榊原前次長の異動及び江浪次長の着任が報告され、両名からご挨拶があった。
- ・石川前参事官も異動されたことのご報告がなされた。

(1) 担当幹事からの報告

□令和5年度 孤独・孤立対策に資する NPO 法人等への調査 ※資料1に沿ってご説明

・日本NPOセンター 吉田）この場では全体的な方針をご説明したい。連携に焦点を充てて調査を行うべく、事務局と詳細議論を進めている。8月中旬には調査開始できるように事務局と共に進めていく。

(2) 分科会等

□孤独・孤立対策に資する官民・民民連携による特色ある取組の推進 ※資料2に沿ってご説明

・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 奥山）先日同じく担当幹事を務めるむすびえと事務局とで議論し、大枠の方針を固めたところ。この場でご報告したい。サンプル収集に際して複数団体から情報を提供いただいております、改めてこの場で御礼申し上げたい。8月の実施へ向けて引き続き詳細検討していく。

→日本NPOセンター 吉田) 予防に資する取組の定義をどこに置くのか非常に難しいところ。昨年度PFで行ったNPO法人等への調査でも、各団体が予防に資する取組と思う情報が自由記述で数多く寄せられた。一部は現地調査で深掘りしているため、必要に応じて参考にさせていただきたい。

→NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 奥山) 先日の議論の中でも「既に取り組が生まれているため、幅広く収集し整理する必要がある」という話になったところ。ぜひ一つの要素として参考にさせていただきたい。

3. 報告事項

□総会の成立事項(定足数)の規約改定 ※資料3-1に沿ってご説明

・内閣官房 吉川) 今回は「会員の1/4」への改正が可決されたが、事務局としては引き続き「1/2の出席ないし委任」がなされるように努めていく。

□幹事会の定期開催日時の確定 ※資料3-2に沿って説明

・RCF 前田) 日程は過日ご案内のとおり。議題状況に応じてやむを得ず日程変更となる場合は、改めてお伺いをさせていただく。

□令和5年5月の「孤独・孤立対策強化月間」の実施 ※資料3-3に沿ってご説明

・内閣官房 吉川) 本年は来年5月の本格実施へ向けた先行実施という位置付けだったが、複数の団体から情報が寄せられたところ。これらの情報はPFウェブサイトで確認が可能。来年5月の本格実施の際には改めて幹事の皆様への情報拡散等をご協力いただきたい。

□孤独・孤立対策におけるサポーター養成の検討 ※資料3-4に沿ってご説明

・内閣官房 吉川) 名称候補はまだ内部確認中だが、今後分科会1構成員間で投票を行い、決定する想定。今後は仕組みの構築/カリキュラムの検討等を行いたく、引き続き分科会1担当幹事にもご協力いただきたい考え。

→あなたのいばしょ 大空) 名称の投票へ向けてはデメリットだけではなく、メリットも併記することで愛着を持って選んでいただきたいたいと考えた。メリットの内容はこれで結構。

4. その他

□「孤独・孤立対策推進法」の成立、公布 ※参考資料1に沿ってご説明

・内閣官房 田村) 5月31日に参院本会議で「孤独・孤立対策推進法」が可決された。これまで衆議院や参議院でなされた審議の一部を抜粋したためご紹介したい。今後は既存のあらゆる制度や施策に孤独・孤立対策の視点を入れた取組推進や、EBPMの推進、課題解決と共に予防に向けた取組推進に努めることが表明されている。推進法の施行へ向けて、引き続き皆さんと支援の在り方等を検討させていただきたい。

□地方公共団体における孤独・孤立対策に関するアンケート調査結果 ※参考資料2に沿ってご説明

・内閣官房 澤瀬) 推進法の施行に際して、地方公共団体の参画がますます重要になる。国としても自治体等へ向けてどのような支援が良いのかを考えていきたい。

→内閣官房 大西) この調査を通じて、自治体が抱える人材不足等様々な課題が見えてきたため、今後の支援策の在り方が検討材料になる。引き続き何ができるのかを議論していきたい。

→日本NPOセンター 吉田) 各自治体はこの調査でいう「孤独・孤立対策」をどのように定義して回答しているのか。孤独・孤立対策はDV被害者支援/困窮者支援等多岐に渡り、既にそれぞれで成り立っているため、回答者に偏りが出るのはないか。

→NPO法人全国女性シェルターネット 北仲) そのように思う。今回の調査では「国が思う孤独・孤立対策はこれですよ」と定義をしたいのか。例えばDV被害に関する調査をする場合は、聞き手が「例えばこのような言動」と具体的に提示することで、回答者は「これも含まれるのか」と理解し、回答することができる。調査前に「どのような結果を得たいか」を細かく想定することが重要。

→内閣官房 澤瀬) 定義はしていない。定義の必要性も考えたが、そのためにはまず国としての定義付けが必要となる。まだその議論ができていない。加えて、今回は予算要求へ向けて「自治体がどれくらい取組意向があるのか」を把握したかったという背景もある。

→内閣官房 山本) 本日の議論を通じて、今後自治体へ「何をすることが孤独・孤立対策になるのか」を発信していくことが重要と改めて気づくことができた。

→いのちの電話連盟 小西) 自治体の回答部署はどこか。

→内閣官房 澤瀬) 国からは各自治体へ孤独・孤立対策担当窓口を設置してもらっているため、その窓口へ投げかけている。具体的には福祉部局に設定されていることが多い。

→NPO法人全国女性シェルターネット 北仲) 設問の置き方として自治体へ「課題に感じていること」を聞き出すのもひとつ。韓国では高齢者同士が集まる場を運営する団体の半分程度は新宗教団体が母体になっている。公的なお金も適用されている。今現在国や自治体が具体的な解決策を持っていなくても、課題を聞き出すことで、解決策を検討していくきっかけになるのではないかな。

□令和5年度地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの取組団体の決定

地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取組モデル調査の取組団体の決定

孤独・孤立対策活動基盤整備モデル調査の取組団体の決定

※参考資料3～5に沿ってご説明

→内閣官房 澤瀬) これから取組が本格化していくため、経過は中間/最終等で随時報告していきたい。

→内閣官房 田村) 地方版PFはまだ予算があるため、2次募集をかけたい。まだ取り組んでいない自治体へ広げていくことも重要だが、推進法施行後のモデル形成へ向けて昨年度採択自治体の継続支援も必要と考えている。

□その他_幹事団体からの取組紹介

→しんぐるまざあず・ふぉーらむ 赤石) 4,300世帯に食支援を届けている。過日検討会で「食支援を受けた方にアンケートを実施し、それを分析し、読みやすいペーパーへまとめ、次回の食支援時に皆さんへ渡してはどうか」というアイデアがあった。実践したところ、食支援を受けた方から自身の悩みについて「自分だけじゃないんだ」と思った等の声が寄せられた。

令和5年7月12日

第13回 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 幹事会（オンライン）参加団体

団体名	出席者 (⇒代理出席又は欠席)	幹事会 へ一任
全国社会福祉協議会	村木 厚子（むらき・あつこ）会長 ⇒代理出席 高橋良太 地域福祉部長 水谷詩帆 地域福祉副部長	—
全国社会福祉法人経営者協議会	磯 彰格（いそ・あきただ）会長 ⇒代理出席 宮内良樹 法人振興部副 部長	—
認定NPO法人日本NPOセンター	吉田 建治（よしだ・けんじ）事務局 長	—
NPO法人新公益連盟	白井 智子（しらい・ともこ）代表理 事 ⇒代理出席 井澤徹 孤独・孤立担当 鈴木 直樹事務局次長	—
NPO法人あなたのいばしょ （SNS相談コンソーシアム）	大空 幸星（おおぞら・こうき）理事 長	—
NPO法人自殺対策支援センターライフリ ンク	清水 康之（しみず・やすゆき）代表 ⇒代理出席 根岸親 副代表 の可能性 有 ⇒欠席	—
一般社団法人 日本いのちの電話連盟	堀井 茂男（ほりい・しげお）理事長 ⇒代理出席 小西慶直 孤独・孤立相 談プラットフォーム事務担当	—
一般社団法人 社会的包摂サポートセン ター （よりそいホットライン）	遠藤 智子（えんどう・ともこ）事務 局長	—
一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク	奥田 知志（おくだ・ともし）共同 代表 ⇒欠席 高橋 陽佑事務局	○
認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ	湯浅 誠（ゆあさ・まこと）理事長 ⇒代理出席 西川貴清 公共政策担当	—

一般社団法人 全国フードバンク推進協会	米山 広明（よねやま・ひろあき）代表理事	—
認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ （シングルマザーサポート団体全国協議会）	赤石 千衣子（あかいし・ちえこ）理事長	—
NPO法人全国女性シェルターネット	北仲 千里（きたなか・ちさと）共同代表	—
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会	奥山 千鶴子（おくやま・ちづこ）理事長	—